

総務委員会 基本方針（案）

総務委員会 委員長 高橋 佑輔

一般社団法人佐賀青年会議所は、時代の荒波とともに長きに亘る諸先輩の功績や信頼をもって今年65周年を迎え、今まさに次世代に向けた新たな一步を踏み出す好機を迎えています。設立当初からある総務委員会が、より良い社会の未来を見据え、メンバー同士が進むべき方向性を共有し、誠実に各所と有機的な連携を図りながら、地域に根差した活動・運動を行うことができる組織基盤を形成することが必要です。

まずは、明るい豊かな社会の実現に向けた各委員会の円滑な事業運営をしっかりと補佐するために、総務委員会が佐賀青年会議所の根幹を担う委員会であることの責任と自覚を持つと同時に職務運営方法を全員が習得することで、組織としての基盤となる委員会を目指します。そして、佐賀青年会議所の方向性を決定する最高意思決定機関である総会や、理事会を筆頭とする諸会議を円滑に運営するために、会議5日前の議案提出・2日前の会議アジェンダ配信といった5・2システムの導入と委員会メンバー全員による議案精査を行い、佐賀青年会議所全体の効率的な会議運営を牽引します。さらに、次年度の佐賀青年会議所運営への引継ぎのために、総会及び理事会における会議内容の正確な議事録作成及び年間を通した各種職務運営方法の体系化を行うことで、総務委員会の経験者有無に依存しない委員会運営方法を確立致します。また、佐賀青年会議所としての活動目的や事業内容を効果的に発信するために、Instagramを始めとするSNSやHPなどの時代に即したツールを活用することで、地域の皆様からの理解を得ると共に新たな仲間を呼び込みます。

我々佐賀青年会議所がこれまで以上に地域社会にとって信頼のおける不可欠な青年団体となるよう、熱い闘志を胸に抱き、組織の要である総務委員会が一丸となり基礎を貫く堅実な運営を通じて、現在（いま）を生き抜き次代へつないで参ります。

[事業計画]

1. 諸会議の運営・設営（通年）
2. 諸記録の整理（通年）
3. 広報活動、情報の発信（通年）
4. 総会の運営・設営（1月・8月・10月）
5. 京都会議参加者への支援（1月）
6. 献血活動の推進（4月）
7. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）